

3.2.4 情報セキュリティ推進室

中期計画期間全体

目 標

情報セキュリティに係る研究開発プロジェクトの推進のための企画・立案・研究計画の調整、プロジェクトの管理・運営、内外機関との調整・連携促進、研究成果の取りまとめ及び成果発表の促進等に至る一連の作業を行うことで、「情報セキュリティに係る研究開発プロジェクト」が効率よく実施でき、標準化・ビジネス化を含めて、多くの研究成果が得られることを目標とする。

目標を達成するための内容と方法

(1) プロジェクトの推進:プロジェクト内及び関係部門のグループリーダーと連携し、実行計画案の提示、各グループからの提案集約、情報セキュリティに対する将来も見据えた研究ニーズ、研究推進体制等の調査、センター長の指示事項の具体化等を通して、プロジェクトの効率的な推進を図る。(2)情報セキュリティ研究サポート会議を開催し、拠点研究や委託研究も含めた総合的な研究開発の方向性を検討する。(3)共同研究、研究委託等の外部機関との連携促進、(4) 成果報告、情報セキュリティ啓もう及び広報等ためのシンポジウム等の開催、(5) 標準化活動の促進、(6)大規模研究開発施設有効利用の推進を行う。

特 徴

情報セキュリティに係る研究開発プロジェクトの企画、管理、運営、情報セキュリティに対する研究ニーズ、研究推進体制等の調査を通して、プロジェクトを効率よく推進する室で、センター長と三つの研究グループの間の調整、国内外の外部機関との調整、標準化活動の促進、大規模研究開発施設の整備支援等を行う。特に、総務省との連携や、科学技術振興調整費等を通して積極的に政策課題に取り組み、我が国の情報セキュリティの向上に向けて、研究成果を迅速に社会に還元する。

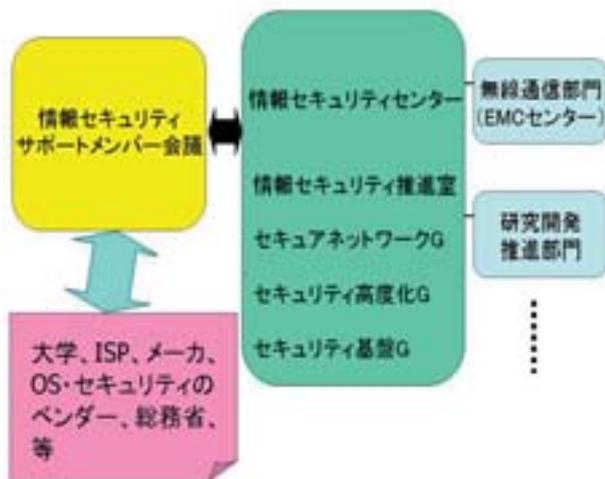
今年度の計画及び報告

今年度の計画

- (1) プロジェクトグループ会議の開催、WEB 等による情報流通の促進、情報セキュリティ研究ニーズ等の調査
- (2) サポートメンバー会議等の開催
- (3) 共同研究、研究委託等の外部機関との連携促進
- (4) 成果報告の実施
- (5) 国内外の標準化活動、研究機関との連携強化
- (6) 大規模研究開発施設有効利用の推進 (T-ISAC 等外部機関連携促進)

今年度の成果

- (1) 会議の開催や取りまとめを通じ、情報セキュリティセンター及びユニット活動に積極的に寄与するとともに、総務省、学識経験者、ISP、メーカー、OS・セキュリティソフトのベンダーなど総勢 30 名規模のサポートメンバー会議を開催した。
- (2) 無線通信部門 (EMC センター)、研究開発推進部門 (委託研究推進室) 等関係部署と協力を進めるとともに、T-ISAC との共同研究や科学技術振興調整費における共同研究を通じ、情報セキュリティ関連機関との連携を強化した。また、連携の一環として、科学技術振興調整費案件に参画している機関と協力してシンポジウムを開催した。
- (3) 電子情報通信学会をはじめとする学会や TV、各種雑誌等にセンターの概要や研究成果を紹介するとともに、センターを取りまとめてパンフレットやビデオを作成し、積極的にアピールした。



サポートメンバー会議の様子